

家庭教育応援企業としての御支援と御協力ありがとうございます

- <川俣町> 株式会社川俣町農業振興公社、株式会社小林、株式会社誉田、有限会社大善自動車整備工場、株式会社渡辺機械、有限会社藤野機工、
有限会社丸信モーター
- <伊達市> 富士通アイソテック株式会社、公益財団法人仁泉会、株式会社ナプロアース、社会福祉法人慈仁会、社会福祉法人信達福祉会、
三和石油ガス株式会社、株式会社新栄製作所、常興工業株式会社、大沼林産工業株式会社、**有限会社光陽スタジオ**
- <桑折町> 福興産業株式会社、曙プレーキ福島製造株式会社、株式会社三栄精機製作所、渋谷建設株式会社、根本建設株式会社、
社会福祉法人緑風福祉会
- <国見町> 公立藤田総合病院、株式会社国見メディアデバイス、株式会社荏原風力機械国見工場、有限会社斎藤建設、株式会社福梁製作所、
株式会社樋口屋商店
- <二本松市> 株式会社丸や運送、二本松信用金庫、医療法人辰星会、株式会社オウジ、株式会社野地組、人気酒造株式会社、
福島ルビコン株式会社、株式会社協栄製作所、福島タカラ電気工業株式会社、高橋電機株式会社、株式会社東北東海、
南電設株式会社、**株式会社東昇コンサルタント、株式会社菅澤建設**
- <大玉村> 株式会社三和製作所、株式会社富士ビー・エス東北工場、パーフェクトン株式会社、おおたま村づくり株式会社、
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
- <本宮市> アルス株式会社、株式会社光大産業、東北協同乳業株式会社、株式会社イワキ、株式会社マインド、川名建設工業株式会社、
株式会社東北電設、コハテック株式会社、有限会社菅野自動車整備工場、有限会社武田産業、有限会社飯田製作所、
株式会社ヨシハラ、有限会社佐藤工業、株式会社相原製作所

【県北の家庭教育応援企業／158社（平成30年12月17日 現在）】

企業の皆様に家庭教育を応援していただいています

企業の皆様に取り組んでいただいているのは、「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」などです。
大沼林産工業株式会社（伊達市）、寿建設株式会社（福島市）の取組を紹介します。

大沼林産工業 株式会社

【保育園行事への親の参加】

【取組内容】

- 幼少期の子どもたちの成長は一瞬なので、親として学校や保育園の行事に関わったり、役員を引き受けたりして、子どもたちの成長を見守ってくださいと伝えています。



〈保育園の役員になり、親子デーに参加しました。〉

〈時間休を取って、消防パレードを見に行きました。〉



大沼林産工業 株式会社

【子どもの通学の送迎】

〔取組内容〕

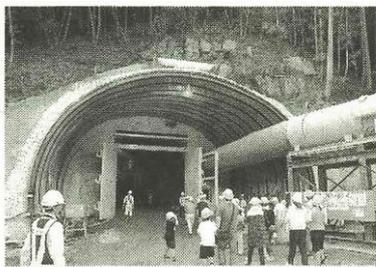
○ 霊山地区は、バスや電車等の公共交通機関がない所もあります。したがって、家族が最寄りの駅まで送迎しないと通学が困難な場合もあります。社員の皆さんも、仕事の時間を調整して、子どもの送迎を行っています。「無言のときもあるし、一言、二言の会話のときもあるけれど、子どもと一緒に車内の狭い空間にいると、息子や娘のその日の感じで、『疲れているな』とか『いいことがあったな』と、分かってきて…」と社員の皆さんが嬉しそうに話しています。子どもを思う幸せな気持ちで、仕事にも良い影響を与えています。

寿建設 株式会社

【現場見学会の実施】

〔取組内容〕

○ ふくしま復興再生道路 山木屋地区工 小綱木2号トンネル工事現場見学会を実施しました。川俣町民の皆様や当社社員の親子など、たくさんの方々の参加がありました。参加者には、ロックボルトキャップを配付して、そこに各自の思い思いの絵や文章を記入してもらいました。それらは、子どもたちがトンネル内に貼り付けました。仕上がったトンネルを通るとき、自分たちのかいた絵や文章が中に埋まっているという思いが、いつまでも残っていくことでしょう。



寿建設（森崎英五朗社長）は25日、同社が施工（仮称）で、地域住民らとする川俣町の国道114号を招いた現場見学会Ⅱを開催した。

地域住民に現場公開 小綱木トンネルで見学会

親子連れなど約20人が参加。見学会前に、現場事務所まで伊藤仁現場作業所長らが事業の概要や進捗状況を説明した。施工現場では、三浦孝雄現場代理人がNATM工法（9・5）が、川俣町小綱木地内。

【福島建設工業新聞 8/31】

【福島民報 9/19】



工事現場に興味津々

川俣南小児童がトンネル見学 手作りキャップ装着



川俣町の川俣南小の児童は19日、同町小綱木の二四号国道山木屋地区のトンネル探掘工事現場を見学した。四年生と六年生、合わせている重機や探掘別支援学校級の四十人で生じた土の再利用方法が町農業振興公社 法トンネルが完成する近の山木屋地区の現場を訪れた。施工業者の寿建設（福島市）の児童はトンネル内の担当者から、工事に使われる岩盤に打ち込んで補強するロックボルト、自作のロックボルト、手作りのキャップを装着した。キャップには工事の安全や作業員への感謝を示す言葉や絵をかいた。本誌専さん（六年）が工事を頑張る皆さんのおかげで町が便利になら、みんなが喜びます。安全に気をつけて強いの工事を頑張ってくださいとお礼の言葉を述べた。

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させていくためには、家庭や地域だけでなく、企業の取組の推進が益々求められています。各社の素晴らしい取組を発信し、広く紹介して参ります。随時受け付けておりますので、家庭教育のより一層の充実のため、ぜひ、取組の様子を御報告ください。

家庭教育お役立ち情報

平成30年度「ふくしまを七文字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の入賞作品が発表されました。今年度は県内外から、過去最多となる4万4545組の応募がありました。その中には、家庭教育応援企業の皆様からの作品も含まれています。数多くの応募をいただきまして、誠にありがとうございました。どの作品からも、心のふれあいがにじみ出ており、温かい気持ちになります。

【絆部門（最優秀賞）】

「ママきいて なんばんにね ぼくがすき」
（大玉村立玉井幼稚園年長）
「耳もとで 一番好きよ ひみつだよ」(母)

「洗濯に 埋もれてたむ 母笑顔」
（須賀川市立第三中学校3年）
「洗濯の 多さ元気の 数と知る」(母)

「おはようの 声のトーンで みやぶられ」
（双葉町立双葉中学校3年）
「いいんだよ 頑張ってるの わかるから」(母)

「母ひるね そっともうふを かけるぼく」
（会津若松市立荒館小学校4年）
「がまんして 子の優しさに 汗をかく」(母)

「まあだかな 暗い畑の ばば想ふ」
（中島村立中島中学校1年）
「孫の手に 心も灯す 懐中電灯」(祖母)



【復興部門（最優秀賞）】

「夏の海 七年ぶりの 磯遊び」
（福島市立荒井小学校6年）
「七年の 年月語る 防潮堤」(母)

「はじめてね そうまのうみで あそんだよ」
（相馬市立飯豊小学校1年）
「我が子らに ようやく教えた 塩の味」(父)

「かつかつと 馬蹄が^{とき}時間を ノックする」
（県立郡山支援学校高等部2年）
「騎馬武者の 勇姿笑顔で 子らと観る」(母)

「いつ会える もう言わないよ お父さん」
（南相馬市立鹿島小学校3年）
「子供達 また一緒に 暮らせるぞ」(父)

「常磐道 稲穂が風に そよいでる」
（南相馬市立原町第一中学校2年）
「あの時の かれきの山が 黄金色」(父)

最優秀賞以外の入賞作品は、福島県教育委員会社会教育課のホームページでご覧いただけます。作品集が掲載されていますので、ご覧ください。(https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/)